

まんだら堂やぐら群

10月24日から12月14日までの土日月の限定公開されているまんだら堂やぐら群を見学してきた。やぐらとは崖に四角い横穴を掘り、内部に石棺を建てるなどして納骨・供養する施設。13世紀後半から16世紀頃まで使われ、鎌倉及び鎌倉と縁が深い地域や寺院などにのみ分布する特殊な遺構とされています。造営したのは当初は僧侶や武士が主と考えられていたが、後には経済力を蓄えた商工業者なども関与していたかもしれません。明確な史料がなく、「まんだら堂」の具体的姿は不明です(国指定史跡 名越切通 パンフレット)。



美しく荘厳なやぐら群



各やぐらの中には石塔が積まれています

奥の平場にあるやぐら